

つながり

紀南病院スローガン(令和元年7月～) 気くばり 声かけ 明るい職場



Winter Concert

- 日時 2019 12/25 WED 17:30～
- 場所 紀南病院 総合受付前
- 演者 紀南病院コーラス部

ハートフル委員会



■ 病院理念

優しく、温かい、確かな医療を提供し、紀南の環境文化に根ざした地域連携の充実に努めます

■ 基本方針

1. サービス精神(KINAN)の徹底
——(K)気持ちよこめて、(I)いつまでも、(N)納得のいく、(A)安心で安全な、(N)任務の遂行

2. 患者さんの権利を尊重し、わかりやすい説明を励行
3. 生活の質の向上(QOL:quality of life)を中心とした診療と援助
4. 行政や医師会と協同した地域医療の向上(救急医療・高齢者医療・健診・地域連携・福祉など)
5. 職員研修の強化と遠隔地医療教育の必須化
6. 職場環境の改善と健全な病院経営に基づく医療環境の提供

令和2年 年頭あいさつ

紀南病院院長 須崎 真



明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく、令和初めての新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

ここ数年は風水害に見舞われている日本列島ですが、昨年、千葉県では広範囲に停電が起き、その復旧にも長時間を要しました。電力に依存している現代社会の弱点を再認識させられた出来事でした。災害に対する意識は常に高く持っていたと思います。

さて、私たちの周囲の医療環境に目を転じますと、我が国の医療施策として、地域包括ケアシステムの構築が叫ばれてから随分になります。いまだ全国的に普及しているとは言えない状態です。その原因はいろいろあると思いますが、都会と地方との生活様式の違いや人口構成の違いなどに加えて、地方自治体の方針や病院・介護施設の分布、住民の意識の違いなど、様々な地域性があるために、パターン化ができないことが原因と考えられます。また、それに加えて、医療と介護の間で相互理解が進んでいないことも大きな理由のひとつであり、その垣根を低くして協力しあえる体制を作る必要があります。

紀南病院では病院と地域の医療関係、介護・福祉関係の方々との相互交流を図る目的で、平成30年6月に紀南地域在宅医療介護連携支援センター「あいくる」を設置しました。「あいくる」の活動として、市町の関係者との定期的な会議のほかに、多職種研修会の開催や施設、医療機関への訪問を行い、病院と地域の医療機関や介護施設との信頼関係の構築に努めています。

紀南病院は地域包括ケアシステムの中で、病院が果たすべき役目として、救急医療や入院加療を要する急性期医療および急性期治療後の回復期医療をしっかりと担っていく必要があると考えています。急性期・回復期の治療後に患者さんの在宅復帰を進めるためには、本人・家族の希望、家族の介護力、家屋のバリアフリー、自宅周辺の階段や坂道などの環境、在宅医療・介護に関する社会資源（訪問診療・介護、ケアマネ、保健師）などの条件がある程度そろっている必要があります。これに加えて紀南地域では山間部に小集落が散在し、住民の高齢化に加えて、かかりつけ医の高齢化も進んでいるなどの不利な要素が多くみられます。

これらの問題を解決することは容易ではありませんが、紀南病院は医療・介護・福祉が今後も紀南地域で安定して維持・存続できるように努力してまいります。今後とも地域住民の皆様のご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。

紀南病院組合議会定例会を開催

令和元年9月26日、紀南病院組合議会定例会が開催されました。

今議会は1議案で、平成30年度紀南病院組合病院事業会計決算の認定が提案され、原案どおり可決されました。平成30年度の決算は、1,957万円の黒字となりました。

今議会では、紀南病院に対する様々なご意見をいただきました。いただいたご意見を真摯に受け止め、今後の病院運営に活かしていきたいと思っております。

●第4回 きなん苑地域交流会教育講演<11月5日(火)>●●●●●



林辰弥教授

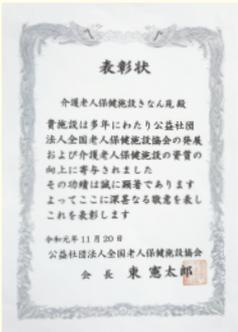
紀南病院組合介護老人保健施設「きなん苑」(御浜町阿田和)において、地域交流会教育講演が開かれ、三重県立看護大学地域交流センターの林辰弥教授が、「お薬の服用について～正しい使い方を知ましょう～」と題して講話されました。昔の薬は生薬のことを指したが、現代の薬は動植物から有効成分のみを抽出、または化学合成によって作られているようで、薬の効果が有効成分の含有量の差で異なることがなくなったほか、有効成分に科学的修飾を付け加えることで、より効きが良く、安全な新しい薬の開発が可能になるなど、薬を取り巻く環境は、研究によって日々進歩しているとのこと。薬の代表格である高血圧治療薬や風邪薬など、含まれる成分やその歴史、服用時に気を付けたいことも解説されました。講話後、きなん苑・野口孝施設長が酒やストレスなどをテーマに、お笑いトークを展開しました。飲酒は適量ならば健康増進の良薬になること、自分に合ったストレス解消法を作るのが良いこと等、野口施設長の話術に、会場は終始笑いが絶えない場となりました。



野口孝施設長



●老健協会から「きなん苑」に表彰状●



このたび、紀南病院組合介護老人保健施設「きなん苑」が、公益社団法人全国老人保健施設協会より、多年にわたる協会の発展および介護老人保健施設の資質の向上に寄与したとして、表彰されました。

●なご和みの会報告<12月7日(土)・紀南病院講義室>●

今回の和みの会(がん患者と家族の会)は、紀南病院・竹本看護師から、「再発してもあきらめない」をテーマに、また、紀南病院・瀬古管理栄養士から、「バランスの良い食事について」をテーマにお話をいただきました。ディスカッションも盛り上がり、有意義な時間を過ごしました。



●●「紀南多職種連携研修会」報告(会場:紀南病院講義室)●●●●●

◎第32回 『少子高齢化社会における高齢者の人権について ～高齢者虐待の実情・対策～』 10月24日(木) 18:00～19:30

講師:ヒューリアみえ(公財・反差別人権研究所みえ) 理事 大谷 徹 氏

◎第33回 『高齢者の栄養と摂食嚥下に関する基本的な考え方と諸問題』

11月1日(金) 18:00～19:30

講師:三重県立一志病院 家庭医療科医師 洪 英在(ほん よんじえ) 医師



第33回



第34回



第32回

◎第34回 『インフルエンザと薬の話』

12月19日(木) 18:00～19:00

講師:紀南病院薬剤部長 中島 和孝 薬剤師

●●●●●当院職員による学会発表●●●●●

令和元年12月7日(土) 三重県地域包括ケア推進セミナー・第36回地域医学研究会(津市・県医師会館)

●発表者:津呂橋優(理学療法士)『ボーダレスな災害対策を!南紀災害医療勉強会の活動報告』

●発表者:金井秀史(社会福祉士)『家族が関わりを拒否する入院患者さんの転院先探しから学んだこと』



紀南病院外来診療担当表

令和2年1月1日現在

診療科		月	火	水	木	金
内科 (予約制) (*紹介状要)	初診	野田 真理子	森川 昇玲	池田 智哉	森本真之助	世古口 知丈
	再診	野田真理子(午後)	森川昇玲(午後)	佐藤丈典(午後)	森本真之助(午後)	世古口知丈(午後)
		濱口 政也			濱口 政也	
		小林 文人	小林文人(午後)	小林 文人	小林 文人	
	専門外来		血液内科外来 (第1・3・4週)(午後) 中井 桂司		消化器外来 原田 哲朗	糖尿病外来(月1回) 住田 安弘
	リウマチ・膠原病外来 高見 勇一郎	呼吸器病外来(月1回) 畑地 治	リウマチ・膠原病外来 高見 勇一郎	血液内科・感染症内科 (第2週)(午後) 鈴木 圭	肝臓病外来(月1回) 杉本 龍亮	
					循環器外来(月1回) 山門 徹	
外科 (*受付11時迄)	1診	乳腺専門外来(第1週)(予約制) 小川 朋子	須崎 真			須崎 真
	2診	草深 智樹	小出 泰平	小出 泰平	小出 泰平	草深 智樹
						肝胆脾外来(月1回・予約制) 櫻井 洋至
整形外科 (*受付11時迄)	初診	小寺 秀樹 松波 山水		小寺 秀樹	松波 山水	三重大医師
	再診	小寺 秀樹 松波 山水		小寺 秀樹 松波 山水	小寺 秀樹	
脳神経外科 (*受付11時迄)	1診	三木 一仁	三木 一仁	三木 一仁 山中 学(予約のみ)	(交代制) 川北 文博 金丸 英樹	三木 一仁
	2診		リハビリ外来(予約制) 山中 学	(第2・4週)(予約制) 栃尾 廣	漢方専門外来 (第1・4週)(予約制) 仲尾 貢二	
*眼科 (*受付11時迄)	1診	休診	久保 朗子	久保 朗子	久保 朗子	久保 朗子
	2診		一尾 享史	村元佑己子		中条 慎一郎
小児科 (*受付11時迄)	1診	櫻井 直人	櫻井 直人	櫻井 直人	櫻井 直人	櫻井 直人
		小児発達外来 (第1・3週)(予約制) 成田 正明				
皮膚科(*予約制)	1診		午後 岡田 佳倫			午前 水谷 健人
脳神経内科 (予約制) (*紹介状要)	1診				松浦慶太(隔月)	成田 有吾 谷口 彰
泌尿器科 (*受付11時迄)	1診	梶原 進也 (予約再診)	梶原 進也	梶原 進也	梶原進也(予約再診) 杉村芳樹(午後) 有馬公伸(交代制)	梶原 進也
耳鼻咽喉科(*受付11時迄)	1診				松浦 徹(午前)	
歯科口腔外科(*受付11時迄)	1診	堀 晃二	堀 晃二	堀 晃二	堀 晃二	堀 晃二
健診センター	ドック健診	高見 勇一郎	小林 文人	高見 勇一郎	鈴木 孝明	高見 麻子
婦人科 (*予約制)	1診				午後(交代制) 非常勤医師	
備考	<p>* 受付時間は午前7時30分～午前11時00分までです。ただし、急患については時間外でも受付します。 なお、当院を初めて受診される患者様及び診察券をお持ちでない患者様の受付時間は、午前8時からとなります。 * 内科は完全予約制の為、予約が必要です。紹介状があれば電話予約が可能です。健康診断で異常を指摘された場合も、結果票が紹介状の代わりになる為、予約可能です。地域連携室までお電話下さい。 * 脳神経内科は紹介予約制の為、予約が必要です。 紹介状があれば電話予約が可能です。平日の2時～5時の間に地域連携室までお電話下さい。 * 眼科は、小児(中学生まで)の検査は午後の為、予約が必要となります。午後2時以降に眼科外来までお電話ください。 ・コンタクトレンズの取り扱いはしておりません。 * 皮膚科は完全予約制のため、予約が必要です。地域連携室までお電話ください。 * 婦人科は完全予約制のため、予約が必要です。地域連携室までお電話ください。 * 泌尿器科初診の場合、かかりつけ医がある場合は紹介状が必要。 紹介状があれば電話予約が可能です。平日の2時～5時の間に地域連携室までお電話下さい。</p>					

面会される方へ お願い

入院患者様への面会に来られましたら、入院しているお部屋をご存じない場合は、必ず総合受付(外来棟2階)か、時間外受付(夜間・休日の場合)にお声かけください。地図をお渡しして、お部屋の場所をご案内します。

